

特別会計予算の概要

予算額 3,749億円 (前年度比1.0%増)

土地区画整理会計

予算額 5億円

- 篠路駅東口土地区画整理事業の先行買収費の増等により、前年度比 38.6%の増となります。

駐車場会計

予算額 4億円

- 減債基金積立の増等により、前年度比 132.0%の増となります。

母子父子寡婦福祉資金貸付会計

予算額 4億円

- 公債償還費の増により、前年度比 121.2%の増となります。

国民健康保険会計

予算額 1,826億円

- 被保険者数の減により、前年度比 0.6%の減となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金143億円など、総額198億円の繰入を受けます。

後期高齢者医療会計

予算額 292億円

- 被保険者数の増に伴う北海道後期高齢者医療広域連合負担金の増等により、前年度比 5.4%の増となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金54億円など、総額67億円の繰入を受けます。

介護保険会計

予算額 1,596億円

- 介護報酬改定やサービス利用者の増加に伴う保険給付費の増等により、前年度比 1.8%の増となります。
- 一般会計から、保険給付に係る費用の市町村負担分など、総額262億円の繰入を受けます。

基金会計

予算額 22億円

- 財産貸付収入の減等により、前年度比 3.2%の減となります。

企業会計予算の概要

予算額 2,677億円 (前年度比0.9%減)



病院事業会計

予算額 298億円
(前年度比 2.2%増)

安全で質の高い医療の提供

安全で質の高い医療を提供するため、高度医療機器の更新・整備を行います。また、経年劣化に伴う施設の改修を計画的に進めます。

経営健全化に向けた取組

市立札幌病院としての役割を果たすため、新入院患者の受入強化や、経費の削減に取り組み、将来にわたって持続可能な経営基盤を確立し、より健全かつ効率的な病院経営を目指します。

収益的収入	255億円
収益的支出	254億円
差引	1億円
未処理欠損金	86億円



中央卸売市場事業会計

予算額 41億円
(前年度比 1.3%減)

安全で安心な生鮮食料品の供給

安全で安心な生鮮食料品の安定供給を堅持していくとともに、中央拠点市場としての機能強化のため、老朽化した場内の設備機器類の更新を行います。

健全経営に向けた取組

今後とも、老朽化施設の更新など、経費の増加が見込まれる厳しい経営環境の中で、健全な事業運営を継続するため、計画的・効率的な事業執行により、引き続き、より一層のコスト削減に努めます。

収益的収入	21.9億円
収益的支出	22.6億円
差引	▲ 0.7億円
未処理欠損金	48億円



軌道整備事業会計

予算額 28億円
(前年度比 3.2%増)

安全の確保

安全運行の確保のため、計画的な軌道施設の更新を進めます。

快適なお客さまサービスの提供

街路拡幅事業に合わせて、レールの制振軌道化などを進めます。

まちづくりへの貢献

電力設備の増強や車両基地の改良を進めるとともに、低床車両の製造等を進めます。

経営力の強化

厳しい経営環境を乗り切るため、運送事業者と連携し、必要な財源の確保に努めます。

収益的収入	10.4億円
収益的支出	15.1億円
差引	▲ 4.7億円
未処理欠損金	13.2億円



高速電車事業会計

予算額 763億円

(前年度比 5.9%減)

安全の確保

老朽化した施設の改修のほか、防災対策として、南北線シェルター耐震改修工事などを進めます。

快適なお客さまサービスの提供

お客さまの利便性向上のため、一般旅客用トイレの洋式化等を行います。

まちづくりへの貢献

施設や車両の案内表示等を多言語表記に改修します。

経営力の強化

厳しい経営環境を乗り切るため、必要な財源の確保や経費節減、経営の効率化に努めます。

収益的収入	409億円
収益的支出	407億円
差引	2億円
未処理欠損金	2,146億円



水道事業会計

予算額 660億円

(前年度比 4.5%増)

安全で安定した水道水の供給

安全で安定した水道水をお届けするため、経年劣化した施設や配水管の更新などを進めます。

また、災害対策として、浄水場などの施設や配水幹線、災害時重要施設〔医療機関、指定避難所（基幹）〕へ向かう配水管の耐震化などの事業を進めます。

健全経営の維持に向けた取組

経年劣化した施設等の更新のほか、災害に備えた耐震化事業の推進などにより、今後も建設改良に係る経費は高い水準で推移することが見込まれることから、健全経営の維持に向け、必要な財源の確保に努めながら、施設規模の見直しや延命化などの経費節減に取り組めます。

収益的収入	452億円
収益的支出	370億円
差引	82億円
未処理欠損金	なし



下水道事業会計

予算額 888億円

(前年度比 1.3%減)

安全なくらしと良好な環境の維持

施設の適切な維持管理や老朽化した施設の計画的な改築を進めるとともに、雨水拡充管の整備等の浸水対策や、下水道施設の耐震化等の地震対策を進めます。このほか、下水の処理方法の高度化や下水道エネルギーの有効利用等に取り組めます。

健全経営の持続に向けた取組

コストの縮減等により財務体質の強化を図るとともに、効果的な人材育成等により運営体制の強化を図ります。

幅広い世代の理解促進に向けた取組

下水道科学館を活用し、下水道を楽しみながら学べる取り組みを行うとともに、下水道に対する関心が高まる効果的な情報発信を行います。

収益的収入	505億円
収益的支出	489億円
差引	16億円
未処理欠損金	なし